

四日市港海岸 工事便り【令和8年1月】

～四日市の未来を支える災害に強い護岸へ～

Vol.2

沿岸地域の皆様へ 四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業の工事状況をお知らせします。

四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業の概要

事業目的

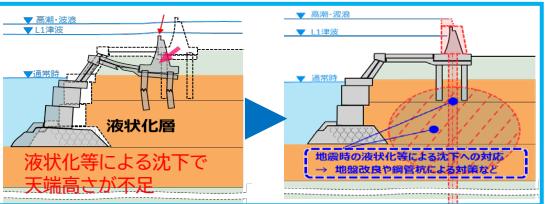
四日市港海岸において、海岸保全施設の耐震改良と嵩上げを実施することで、発生確率の高い津波(L1津波)や高潮(伊勢湾台風クラス)から地域住民の生命・財産を防護するとともに、企業活動を維持します。

事業内容

【整備施設】護岸(改良)3,862m、胸壁(改良)884m
樋門(改良)5基、陸閘(改良)11基

【総事業費】250億円

【事業期間】令和6年度～令和17年度

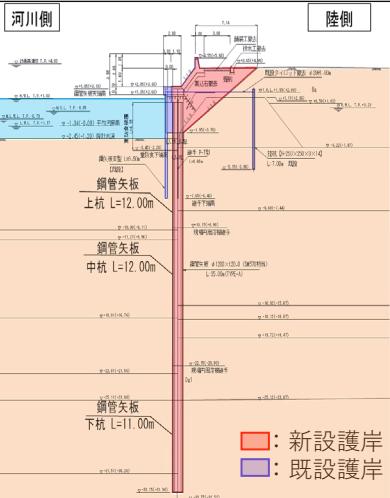


令和7年度 四日市港海岸塩浜地区IV工区護岸(改良)本体工事の概要

塩浜地区IV工区護岸において、仮設工(仮護岸整備)、構造物撤去工、土工(掘削)、本体工(鋼管矢板打設)を実施します。【工期：令和7年9月4日～令和8年3月27日】



施工イメージ



標準護岸断面図



国土交通省 中部地方整備局
四日市港湾事務所 海岸課
TEL:059-359-0163

工事進捗状況



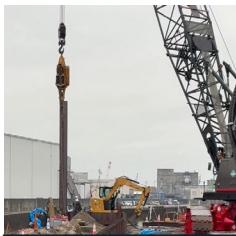
R7.12月撮影

仮設鋼矢板打設前(全景)



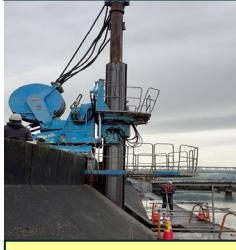
R8.1月撮影

仮設鋼矢板打設完了後(全景)



R7.12月撮影

仮設鋼矢板打設状況(パイプロハンマによる打設)



R7.12月撮影

仮設鋼矢板打設状況(オーガ併用圧入工法)

- 仮設鋼矢板の打設には、土砂部分はパイプロハンマを使用し、打設護岸背後の石材が埋まっている部分はオーガを併用した圧入工法※を用いています。工法選定においては、地盤条件などを踏まえ、経済性・施工性などを加味しながら最適な工法を選定しています。

※地面に穴をあけるための機材(オーガ)により、杭先端の直下地盤を削孔すると同時に、鋼矢板を押し込んでいきます。

【令和7年度 四日市港海岸塩浜地区IV工区護岸(改良)本体工事 工程表】

年月日	令和7年				令和8年		
	9月 10 20	10月 20	11月 20	12月 20	1月 20	2月 20	3月 20
工種	準備工	仮設工	構造物撤去工	土工	本体工(鋼管矢板工場製作)	本体工(鋼管矢板打設)	片付工
準備工							
仮設工							
構造物撤去工							
土工							
本体工(鋼管矢板工場製作)							
本体工(鋼管矢板打設)							
片付工							

現場担当者より

平素は四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業に対して、ご理解・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

11月より現地工事に着手している護岸(改良)工事は、12月末までに仮設鋼矢板の打設を完了しました。この仮設鋼矢板と大型土のうにより、施工期間中における背後地への浸水防護機能を備えた仮設防護ラインが構築され、1月より護岸の既設上部コンクリートを撤去します。

また1月現在、護岸本体となる鋼管矢板を千葉県内の工場で製作中です。製作した鋼管矢板は海上輸送及び陸上輸送で現地に搬入し、令和8年2月頃に陸上より打設する予定です。

今後も安全第一で整備してまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。